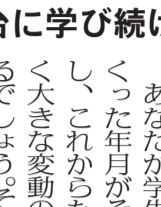




経済学部長 浅見 和彦

卒業の日を迎えて、学生生活の意義をよく感じるようにならなければならないと思います。そのときに専修大学を思い出していただければ幸いです。



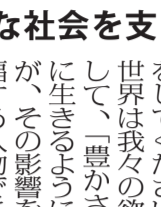
経済学部長 浅見 和彦

大学で学んだことは万能ではありませんが、これを土台にして、長い人生のなかで学び続けていくことは人を成長させます。そして、職場や社会における地位の変化や人間としての円熟とともに、大学で経済社会の動向を研究する経験をもったこと



法学部長 坂本 武憲

卒業おめでとう。皆さんがそこへと巣立っていく社会は、いま目標を失いかけています。環境破壊を伴う生産活動や、大きなリスクを伴うエネルギー



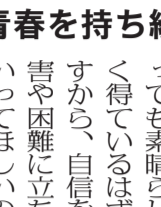
法学部長 坂本 武憲

真に自由な社会を支えよう。皆さんは各人が「創造性」を磨き、現象的世界の誘いから独立して生きるように誘います。幅する人物であってほしい。



経営学部長 瓶子 長幸

卒業おめでとう。卒業生の皆さん、皆さんはこれから社会人として世の荒波にもまれながら生きていくことになります。おそろしく多くの障害や困難が皆さん



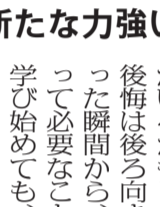
経営学部長 瓶子 長幸

精神の青春を持ち続けよう。青春は、その戦いの中でも加えて、皆さんは経営学部で、さまざまな生きた知識を、そしてなんと



商学部長 内野 明

卒業おめでとう。大学卒業はだれにとっても人生の大きな転換点。東日本大震災を受け、専修大学も第三の転換点、何年後に大きく飛躍するよう、こ



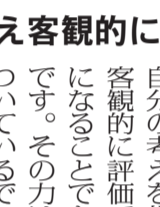
商学部長 内野 明

転換点新たな力強い一歩を。日本にとって若い力が今ほど必要な時はない。明日からの新しい世界で、大いに羽ばたけ、若き風たちよ。



文学部長 金子 洋之

卒業おめでとう。この4年間(あるいはもっと)の大学生活を振り返って、どのような思いをもって戻って来ようか。いやあ、十分満足したと思っ



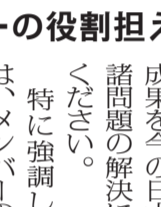
文学部長 金子 洋之

自分の考え客観的に評価を。客観的に評価できるようなことである。その力は十分身につけているのでしよう。



ネットワーク情報学部長 伊東 洋三

卒業おめでとう。この1年間、最も印象に残ることは東日本大震災でしょう。あなたたちの就職活動にも大きな影響を与え、就職先の決定が遅くなった人た



ネットワーク情報学部長 伊東 洋三

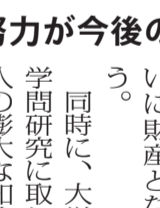
リーダーの役割担える人に。特に強調したいことは、メンバーの能力を束ねて大きな力にしてい

学部長・大学院研究科長・法科大学院長の「贈る言葉」



経済学研究科長 原田 博夫

経済学研究科をめでたく修了された皆さん、おめでとうございませう。今回の修了者は、修士課程で21人、博士後期課程1人です。年齢層でも50歳代が1



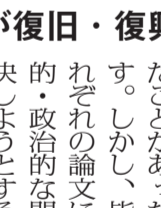
経済学研究科長 原田 博夫

論文の努力が今後の財産に。同時に、大学院時代に学問研究に取り組み、先人の膨大な知的蓄積の一端に触れたことは、これからの人生における謙虚さにも思い至ったのでは



法学研究科長 庄 菊博

今年度、法学研究科では10人(あるいはもっと)の大学生活を振り返って、どのような思いをもって戻って来ようか。いやあ、十分満足したと思っ



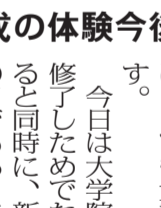
法学研究科長 庄 菊博

各研究が復旧・復興の力に。必ずや、今回の大震災からの復旧・復興を促進する力になるものと確信し



文学研究科長 道家 英穂

大学院の課程を修了され、修士・博士の学位を取得された皆さん、おめでとうございませう。学位論文を完成させ、達成感をもって今日という日を迎えら



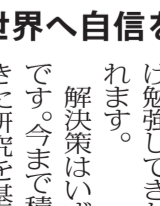
文学研究科長 道家 英穂

論文作成の体験今後の糧に。今日は大学院の課程を修了したため、新しい門出の日でもあります。己の



経営学研究科長 廣石 忠司

大学院を修了する諸君、おめでとう。これまでの研鑽が実ったことと思います。ただし、これはゴールではありません。次の一歩を踏み出したにすぎませ



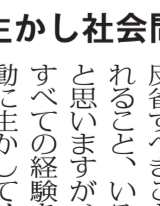
経営学研究科長 廣石 忠司

新たな世界へ自信をもって。解決策はいつでも共通です。今まで積み上げてきた研究を基に、実力を発揮することです。専修



商学研究科長 上田 和勇

大学院の課程を修了され、学位取得された皆さん、おめでとう。努力はまだ今後、続いていきます。



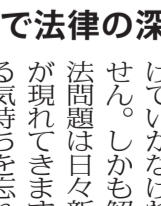
商学研究科長 上田 和勇

研究を生かし社会問題解決。専修大学大学院で学んだこと、経験したこと、反省すべきこと、褒められること、いろいろある



法科大学院長 石村 修

法科大学院での学位(法務博士)を取得され、7期目の修了生になられた皆さんに、スタッフを代表してお祝いを申し上げます。この2年ないし3年間、



法科大学院長 石村 修

努力で法律の深淵を理解。世界は奥が深く、その深淵を理解するのはこれからの皆さんの努力次第です。皆さんは